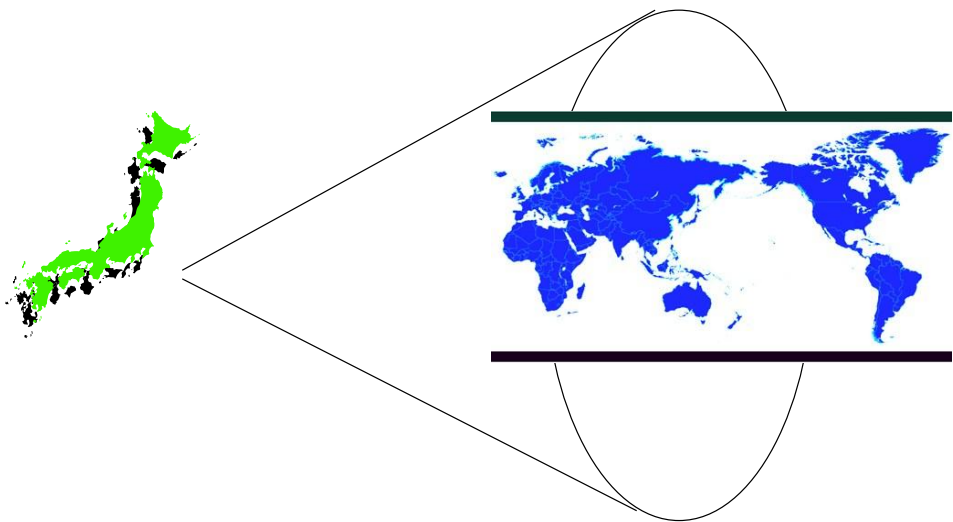


図解

# 外国につながるのある子どもたちの 教育支援実践ガイドンス

～ 小さな気づきから始まります ～



NPO法人 Jコミュニケーション

本冊子は、群馬県緊急雇用創出基金事業によるものです。

## まえがき

群馬県伊勢崎市のNPO法人 J コミュニケーションは、群馬県緊急雇用創出基金事業「外国にルーツを持つ子どもたちの教育支援体制充実事業」を受託し、2014年3月から2015年2月までの1年間にわたり実施した。

本事業では、自治体事業における民間活用の流れの中、外国につながりのある子どもの教育支援について、民間として公教育と連携し補完する活動を追究し実施した。またそれを、閉じた世界で行なうのではなく、地域の人的リソースの活用・養成を図り、地域の活性化につながることを視野に入れて行った。

本事業は、教育・学習支援相談センター、日本語教育支援強化、人材養成、ネットワーク作りの4つの柱で構成される。その実践の中で実績を積み重ね、多くの知見を得ることができた。

外国につながりのある子どもに対する日本語・教科学習支援に加え、保護者を含む様々な教育面の支援相談、そして支援の継続と発展を担保するための地域人材の養成、さらには地域の活性化とのつながりも図るための人的ネットワーク作りの推進など、これらの実践で得られた知見を、広く県内各地域の支援活動に生かしていただくのが本冊子を発行する目的である。

本冊子は、教育現場・支援現場で忙しく活動している人々にとって、また、新たに支援活動を始めようとしている人々にも、即戦力として役立つよう、図解とその解説という形式をとってある。これにより、実践や課題解決について手早く基本的な「気付き」を得ていただき、そこから各人が自ら考え、直面する多様な問題に自らのアイデアを作り対処する、それらの後押しになることを目指している。

また、支援対象の生徒は実に様々な経緯・背景を持っており、生徒一人一人が固有の問題を抱えている。その対処には、テクニックも大事であるが、なによりも問題解決のための「考え方」を持つことで多様な問題への対処が可能となる。本冊子はその「考え方」を提示することにも留意したつもりである。

外国につながりのある子どもの置かれている環境、抱えている問題、支援の実践、そしてネットワーク作りという構成の民間視点の本冊子が、支援に関わる多くの人々に少しでも役立つことを願うものである。

# 目次

第1章	外国につながる子どもの環境と教育面の問題の理解 (子どもの学ぶ権利の理解、日本語を学ぶ意味の理解を含む)	頁1
第2章	外国につながる子どもの学校における教育面の問題の理解	頁11
第3章	日本語を学ぶ場について(学校内支援、学校外支援)	頁33
第4章	日本語教育支援者について(養成講座について含む)	頁45
第5章	日本語教育支援の方法について (民間支援での留意点、メリットの理解)	頁50
第6章	地域の教育委員会、学校、行政、地域住民、NPO等との連携・ネットワークの作り方の理解	頁62
第7章	支援に初めて参加したい人のためのQ&A	頁72
第8章	参考資料	頁76